

※記入例

(あくまでも、これは記入例ですので、このまま記入しないでください。
こちらを参考に地域の実情に合わせて記入してください。)

平成 年度地域総合福祉推進事業(ふれあいケアネット融合型事業)助成金事業計画書

活動目標	(例)5年後をめどに地域の福祉人材を町内会ごとに養成し(30人→50人へ増)、声かけや話し相手を中心に活動を行い、だれもが孤立しない地域づくりを目指します。
------	--------------------------------------------------------------------------------

地区内で達成できそうな目標または、実現したい目標・努力目標を具体的に記入してください。
(例)3年後までに福祉推進員を設置する or 30人→50人へ増 or 町内会ごとに設置する
ケアネット(ご近所助け合い)事業の対象町内を、全町内で実施する or 対象者マップを作成する
or 研修会を実施する or 住民アンケートを実施する or 緊急連絡カードを作成する or 広報誌で事業紹介と人材募集を行う or 除雪支援者のグループ化を図るなど

1 地区名 ○○ 地区校区社会福祉協議会

2 概要

(1) 構成員(地域リーダーの名簿添付、公募構成員は※を付記)

(2) 地区内の人口 2,012 人

(3) 地区内の世帯数 634 世帯

(4) 取決書の締結状況(活動目標) 有 ・ 無

(4)取決書の締結状況(目標)は、上記の「活動目標」のことです。

3 事業の内容

(1)活動調整連絡会

開催予定回数	20 回
開催方法	定例会での会議 保健福祉センター、包括支援センター、市社協との連絡会 民生委員との連絡会、福祉推進員との連絡会
その他(ニーズ把握・広報活動等)	会報「○○」の発行、事業チラシの班回覧、活動パネルの作成・展示 住民アンケートの実施、地域リーダーとの情報交換会の実施

地域ぐるみ推進事業の内容を転記してしてください。
「(2)生活支援事業」の欄には地域ぐるみの「要援護者とのふれあい活動」をそのまま記入してください。
それに追加して、下記に記載がある「ふれあいサロン」「会食会」「子育て支援事業」「障害者支援事業」など地域の実情に応じた地域福祉活動事業に関するものを記入してください。

(2)生活支援事業(新事業には※を付記)

事業名	回数	内容	他事業調整状況
ふれあいサロン	6 回	公民館で、高齢者を対象にレクリエーションや会食会を提供する。	民生委員、福祉委員、保健福祉センター、包括センター

子育てサロン	6回	公民館で、子育て親子を対象に子育ての悩みを解消したり、親子が顔なじみとなる場を提供する。	民生委員、福祉委員、保健福祉センター、包括センター
一人暮らし高齢者ふれあい訪問	2回	一人暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に、安否確認と激励を兼ね手作り弁当を添えて訪問する。	民生委員、福祉委員、食生活改善推進員
世代間交流会 ふれあい会食会	2回	子育て親子や高齢者を招待し、会食をとおしてふれあう場を提供する。	民生委員、福祉委員、児童クラブ、食生活改善推進員
男性料理教室 親子料理教室	2回	一人暮らし男性を対象に、料理教室を開催する。父子家庭の親子を招待し、料理教室を開催する。	民生委員、福祉委員、児童クラブ、食生活改善推進員

(3) 他組織との連携による地域福祉活動事業

事業名	回数	内容	他事業調整状況
敬老会	1回	町内会と連携し、出席確認から送迎などを責任持って行い、福祉の土壌作りをすすめる。	町内会、民生委員、福祉委員
歩こう会	2回	春と秋に、コースを決め、子どもからお年寄りまで幅広く参加してもらいふれあう場を提供する。	健康委員

(4) 地域福祉人材発掘・養成事業

事業名	回数	内容	他事業調整状況
ボランティア講座	2回	地域の方を対象に、ボランティア講座を開催する。	ボランティアサポーター
ボランティア人材の募集	2回	広報誌で、ボランティアを広く募集する。	広報委員会
福祉リーダー研修会	2回	地区社協役員、民生委員、福祉委員などの地域リーダーを対象に研修会を行う。	民生委員、福祉委員

(5) 地域福祉人材リスト作成事業

有 ・ 無

ケアネット活動調査事業は、アンケートや現場(対象者宅・各種事業会議)で、福祉ニーズ(困りごと・問題)を調べることです。地域の实情に合わせて記入してください。
※福祉問題が分からないと、地区にどんな事業が必要か分かりませんので、今後の活動に活かすものとして捉えてください。

(6) ケアネット活動

a. ケアネット活動調査事業

事業名	回数	内容	他事業調整状況
福祉アンケート	1回	福祉ニーズ(困りごとや問題)アンケートを実施する。	自治振興会、町内会
要援護者ニーズ調査	随時	要援護者宅をまわり、福祉ニーズ(困りごとや問題)を聞きとる。	
福祉ニーズ調査	5回	サロン等事業で福祉ニーズ(困りごとや問題)を聞き取る。	ふれあいサロン
民生委員定例会	12回	定例会に参加し、最近の福祉ニーズを話しあい、要援護者の近況を情報交換する。	民生委員
福祉委員会議	6回	会議に参加し、最近の福祉ニーズを話しあい、要援護者の近況を情報交換する。	福祉委員
情報連絡会	5回	地区の連絡会で情報交換しながら福祉ニーズを話し合う。	

b. ケアネット活動ケース検討会等関係会議

ケアネット活動ケース検討会関係会議は、対象者への支援方法を検討する会議です。
 地域の実情に合わせて記入してください。
 ※チームごと・対象者ごと・関係者専門職・全体で、必要に応じて検討する会議と考えてください。

開催予定回数	60回
開催方法	
チーム会議	チームで定期的に情報交換する。また、関係者及び専門職等のアドバイスをもらう。
ケース会議	新規ケース(新規対象者)の場合関係者会議を行う。また、難しいケース(対象者)の場合は専門職等を交え会議を行う。
定例会議	定例会で状況報告を行いお互いに情報交換する。

c. ケアネットチーム活動

No.	チーム名	1チーム員数	2支援人員数	3支援回数	4サービスプログラム数
	別紙の通り				
	1活動予定人員数を記入(支援者)	2対象者数を記入(支援を受ける人)	3一年間の延べ活動回数を記入(活動予定回数を全て足してください)	4対象者数を記入(支援を受ける人) ※サービスプログラムは、活動内容のことです。 原則対象者一人に1プログラム	
	チーム数	13チーム			
	計	60人	30人	1,440回	30
					<input checked="" type="checkbox"/> 見守り <input checked="" type="checkbox"/> 声かけ <input checked="" type="checkbox"/> 話し相手 <input checked="" type="checkbox"/> ゴミ出し <input checked="" type="checkbox"/> 買物 <input checked="" type="checkbox"/> 除雪 <input type="checkbox"/> 外出時の付添 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援 (おかずのおすそ分け、送迎、灯油入れ)

チーム数を記入

2の支援人員数(対象者数)と4のサービスプログラム数は、原則、一緒の数字になります。一人の対象者に、1プログラム

活動内容をチェックしてください。その他の支援があれば、()内に記入してください。

※その他の支援例

- 電球の取替え、灯油入れ、おすそ分け
- 庭の手入れ、草むしり、子どもの託児
- 家具など重いものの移動
- 送迎、電気製品の取付け・取替え
- 家屋や納屋の整理、片付け
- 障子張替え、簡易な家の補修
- 雪囲い、書類回覧等説明
- 服薬確認、掃除、

4 収支予算書

(1) 収入

財源内訳	予算額	内 訳
県社協助成金	83,000	地域総合福祉推進事業助成金
市補助金	125,000	地域ぐるみ福祉推進事業補助金
その他	125,000	地区社協会費、事業収入、寄付金、町内会からの助成金等
計	333,000	

県社協のケアネット助成金を記入してください。

市社協からの地域ぐるみ補助金を記入してください。

(2) 支出

区 分	支出予定額	積算内訳
(ふれあい型)		
諸謝金	20,000	講座・教室講師等謝金、報償費
旅費交通費	10,000	会議等出席旅費
消耗品費	110,000	各種事業教開催経費等
器具什器費	20,000	機材購入代等
印刷製本費	30,000	広報誌等作成代、各種事業チラシ印刷代、会議資料コピー代
水道光熱費		会場光熱水費代
通信運搬費	20,000	連絡用ハガキ・切手代、電話代
会議費	30,000	各種会議お茶・茶菓子代等、研修会費
損害保険料	10,000	行事保険代、活動者保険代
賃借料		会場等使用料
諸費		基本は無し、サロン開催経費のみOK
小 計 ①	250,000	
(ケアネット型)		
諸謝金	10,000	研修会講師謝金、住民懇談会等講師謝金、報償費
旅費交通費	10,000	活動交通費、会議等出席旅費
消耗品費	43,000	活動消耗品代、事務消耗品、名札代
器具什器費	10,000	除雪用品購入代、記録管理棚購入代、備品購入代
印刷製本費	10,000	資料作成代、各種資料コピー代、活動記録用紙コピー代
水道光熱費		会場光熱水費代
通信運搬費		連絡用ハガキ・切手代、電話代等
会議費		各種会議お茶・茶菓子代等
損害保険料		活動保険代
賃借料		会場使用料
諸費		見守りネットワーク事業経費
小 計 ②	83,000	* ②の額が県社協助成金額を下回らないこと
合計 ①+②	333,000	

積算内訳は、記入例を参考に、記入してください。あくまで、参考ですので、このまま記入しないでください。

その他の財源は、市補助金と同額以上を記入してください。
(例) 自主財源として、地区社協会費、事業参加収入、寄付金、自治振興会・町内会からの助成金等

(注) 小計②の欄は、県社協補助金額を下回らないように注意してください。